

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
自己発見	2 単位 人間を知る	宗教と人間	山下 智子	1 年次	秋

授業のキーワード	私たちの生きる世界、命、キリスト教倫理
授業の概要	現代社会に生きるわたしたちが取り組まなくてはならない課題の中からいくつかを選び、その問題について理解を深め、現代キリスト教がその問題どうに答えようとしているかを学びます。前半は世界で問題となっている命にかかわる問題（貧困、戦争、食、環境など）などについて、後半は日本で問題となっている命にかかわる問題（いじめ、自殺、虐待、核など）について取り上げます。
期待される学習成果（目標）	現代社会に生きるわたしたちが取り組まなくてはならない命にかかわる問題（貧困、戦争、食、環境、いじめ、自殺、虐待、核など）について理解を深め、キリスト教の倫理観を学ぶことが目標です。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	オリエンテーション	この講義の目的と進め方・発表のやり方などについて説明します。	第 9 講	日本で命を考える 自殺	自殺を防止について学びます。
第 2 講	私たちが生きる世界 貧困	世界の貧困について学びます。	第 10 講	日本で命を考える 身近な死①	愛する人やペットを亡くした体験について学びます。
第 3 講	私たちが生きる世界 戦争	宗教は本当に戦争の原因なのかを考えます。	第 11 講	日本で命を考える 身近な死②	映画「エンディングノート」を鑑賞します。
第 4 講	私たちが生きる世界 食	食の問題について学びます。	第 12 講	日本で命を考える ターミナルケア	ターミナルケアについて学びます。
第 5 講	私たちが生きる世界 子ども①	世界の子供たちがおかれた現状を学びます。	第 13 講	日本で命を考える 核	核の利用に関してを学びます。
第 6 講	私たちが生きる世界 子ども②	世界の子供たちがおかれた現状を学びます。	第 14 講	日本で命を考える ボランティア	ボランティアについて学びます。
第 7 講	私たちが生きる世界 環境	地球の環境と未来にわたしたちはどんな責任があるかを学びます。	第 15 講	まとめ	これまでの授業を振り返りまとめをします。
第 8 講	日本で命を考える いじめ	いじめについて学びます。	定期試験		レポート試験を行います。
評価方法		課題（発表、レポートなど）70% 授業貢献度（授業態度、出席状況）30%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
池田香代子、マガジンハウス編『世界がもし 100 人の村だったら総集編』、マガジンハウス、2008			神田健次編『<講座>現代キリスト教倫理 1 生と死』日本基督教団出版局 1999 年 金子啓一編『<講座>現代キリスト教倫理 3 日本に生きる』日本基督教団出版局 1999 年 栗林輝夫編『<講座>現代キリスト教倫理 4 世界に生きる』日本基督教団出版局 1999 年		